

会議の名称	令和7年度加東市在宅医療・介護連携推進協議会
開催日時	令和7年6月23日（月） 午後1時30分から3時00分まで
開催場所	加東市役所3階 301会議室
会長の氏名	坂本泰三
出席委員の氏名	坂本泰三 森下智行 小野圭三 圓尾文子 北吉由紀子 石田三有希 山口香 浅井歩 荒木昭吾 森下和理 藤村由美 細川公代
欠席した委員の氏名	なし
出席した事務局職員の氏名及びその職名	高齢介護課長 井澤彰子 副課長 高濱さおり 係長 櫛原ひろみ 袖本 秀樹
議題、会議結果、会議の経過及び資料名	<p>議題、会議結果、会議の経過及び資料名</p> <p>1 開会</p> <p>2 委員紹介</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 令和6年度加東市在宅医療・介護連携推進事業報告について</p> <p>【資料3】</p> <p>事務局から資料3に基づき令和6年度加東市在宅医療・介護連携推進事業報告について説明</p> <p>会長：ありがとうございます。説明が終わりましたので、質疑に入りたいと思います。質疑のある委員の方は挙手をよろしく願いいたします。</p> <p>委員：在宅医療介護連携に関する相談支援機関、関係市区町村の連携というところで、どんなお話があって何か加東市でもこういうことをやっていった方がいいなとかここは加東市でできているなとか何か加東市に関係する内容があれば、お聞かせいただけたらと思います。</p> <p>事務局：こちらの会議の方に関しましては毎年開催をされておりました、1回目2回目という形で県で実施をされており、テーマがその回によって変わるものでございます。今年度に関しましては介護予防のお話などが入ってございましたので、在宅医療に直接ということではありませんけれども、事業内容の共有や加東市の介護予防事業の取り組みの状況を発表させていただくという形で連携をさせていただいたという状況でございます。</p>

委員：計画のところにありますし、広域でないといけないという事業もあると思いますので、今後またご意見をいただけたらと思います。

会長：他によろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

会長：それでは質疑がないようですので、本議案について異議はございませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

会長：異議はないようですので、承認いただいたものとさせていただきます。

(2) 令和7年度加東市在宅医療・介護連携推進事業計画（案）について

【資料4、資料5】

事務局から資料4及び資料5に基づき令和7年度加東市在宅医療・介護連携推進事業計画（案）について説明

会長：令和7年度加東市在宅医療・介護連携推進事業計画（案）の資料4と資料5のデータの説明が終わりましたので、質疑に入りたいと思います。ご意見のある委員は挙手をお願いいたします。

委員：口腔ケアチェックシートですけれども歯科医師会から皆様のお手元に回るように配布しておりますけれども、現実的には利用されている方が極めて少なく、年間にして3、4件しかないような状況です。

在宅の治療で歯科の場合は、できることが現在のところ、かなり限られていまして。実際にそういう在宅の方が何とか医院に来られましても、確かに難しいケースは多いのですけれども、食べるということは非常に大事なことであり、我々としてもできる限りのことはしたいというところがございますので、大いに活用していただいたら結構です。本当にそれをしていただいた方がありがたいと思います。

ただし、かかりつけの先生がいらっしゃるのだったら、そちらの方にまず伝えていただいて、かかりつけ医がない場合は、これで申し込んでいただきましたら、歯科医師会として誰かを派遣するのようにしたいと思いますので、その点よろしくをお願いいたします。電話だけではなく、できることならば、この紙1枚を書いて送っていただけると助かります。

よろしくをお願いいたします。

会長：事業の促進をよろしくをお願いいたしますということでございます。

他にご意見はよろしいでしょうか。

委員：事業計画やこの在宅医療介護関連データの方に関しましては、去年もこの会議に出席したのですけれども、この資料の内容がかなり厚くなっていてすごいなと思ったのと同時に、どこから何をしていくのかという気持ちにもなったのですけれども、一

つとしてその事業や事業計画を通して見たときに、ケアマネジャーと医師会、薬剤師会、歯科医師、それぞれ情報シートがある中で、この歯科医師と薬剤師との連携シートの活用が数字的には活用されていないところが課題であると思います。ただここがどういうことを表しているのかということ掘り下げて考えていけないのかなと思います。その中身としては、その時に必要な対象者がいない場合ももちろんあるだろうけれども、単にケアマネジャーの意識が低くてやってないのか、その数字の表す意味をもう少し深掘りしないといけないのではということと、これは口腔ケアや服薬管理に関しての地域の意識の一側面であって、加東市として、今後詳しく見ていったらどうなのかということのを思いました。

ケアマネ協会としては、この書類の活用を進めて促していくことは必要だなと思いますし、ケアマネジャーの口腔ケアのケアプランの位置づけが少ないと市の方が思われるのであればそこに何か手を打つような取り組みを誰がどうするのが必要なのかなと思いました。

要介護認定などの病気になるデータもたくさん載せてくださっていますので、ぜひ他の皆さんのご意見も聞かしていただけたらなと思います。

会長：今後は口腔ケアに関して、もう少し連携を多く深めていってほしいということですね。口腔ケアをきちっとすると、誤嚥性肺炎も減りますし、歯周病が減ると糖尿病のコントロールも良くなるというデータも出ておりますし、インフルエンザやコロナの感染率も下がることも考えられます。

性格の問題とかも絡んでくるのかなと思うのですが、口腔ケアをきちっとすると非常に生活習慣病も含めて良くなるという結果も出ておりますので、個人的な意見にもなりますが、ケアマネジャーさんだけでなく、施設の皆さんも、ケアマネジャーさんもケアプランにぜひ口腔ケアや栄養指導も含めて入れていただけたらと思います。

他にご意見ございませんでしょうか。

委員：かかりつけの歯科をお持ちなのですからけれども、最近行かれていないのと、相性が合わないので変更したいって言われる方が時々いらっしゃるのですが、その場合の利用は構わないのでしょうか。

委員：前回ここに通院されていましたという情報とかがあればまたそこは考慮して対応をさせていただきます。別の医院で書いていただいてもよいのではないのでしょうか。

委員：お値段とかも気にされる方がいらっしゃるんですが、実際に行ってみないことには、何ができるか、何をするかによっても違ってきますが、通院と訪問では違いがありますか。

委員：訪問ではできることが限られているので、圧倒的にできることが違ってきます。

持っていける器具も限られておりますが、通院が難しい方は活用してもらっても大丈夫です。

委員：ありがとうございます。ケアマネジャーだけでなく、施設の方も訪問看護の方も皆さん直接利用してよろしいということですよ。

委員：そうです。

会長：他にご意見はよろしいでしょうか。

委員：報告のところでも聞かせてもらったのですが、毎年テーマが変わって決め方としては、毎年どんなことを話し合うのかっていうのを各市町村にアンケートが来るということだったのですけれども、今年度、会議の前にアンケート取ってくださって、回答者それぞれがその地域に思う課題で意見が多く集まっていると思うので、それを加東市だけで解決できない課題もきっとたくさんあったように思いますので、そのあたりをぜひ持って行っていただけたらいいのではと思います。また、広域で集まる会議だからこその難しさはもちろんあると思うのですが、広域じゃないと解決できない課題もあると思うので、会議のテーマが毎年変わるのはどうなのかと思います。きっと何年もかけて話し合うようなテーマがあるのではないかと、抽象的なのですが、まとめると今回集めていただいたアンケートにそういったことが書いてあるのではと思うので、それもぜひ参考にさせていただけたらと思います。

会長：ありがとうございます。広域ならではの課題、例えば周産期とかは加東市だけでは無理なので、広域でやっていかないといけないとか、在宅はちょっと狭い範囲でという地域力の話も出てきていますし、小児の問題など、在宅医療を含めていろいろあるのではないかとのお話だと思います。

広域に関しては、それぞれの課題をお持ちだと思いますので、課題を出していただいて、5年10年後も見据えて、やっていただいて、広域のものをやっていただけたらなということよろしいでしょうか。

委員：ありがとうございます。

会長：他にご意見はよろしいでしょうか。

委員：加東健康福祉事務所です。去年の会議の内容につきましては、入退院支援のアンケートについてご報告させていただいたのと、2年続けて介護予防のお話でした。

介護予防の研修をしていただいたというところだと思うのですが、今年度はその継続というよりは、今年度考えておりますのは、北播磨総合医療センターが認知症疾患医療センターに春から指定をされていますので、連携をどう取っていただくのか、地域の皆様の声としては、まだもう一つ連携が進んでないというところも聞いておりますので、その連携についてピックアップしたいなということは考えております。

先ほど示していただいたこの歯科の実態調査に関しても内容をお伝えさせていただいたのかなと思うのですが、また引き続き稼働し、皆さんの方からもご要望などをお聞かせ願えたらと思います。よろしく願いいたします。

会長：ありがとうございます。診療所、かかりつけ医、あるいは皆さんがちょっと気に

なるなという方でも結構ですので、まず診断だけでもつけるということでも北播磨圏域ではそこが最終的にきちっと診断をつけると、今後どういう方針でいくかというようになっていきますので、その連携に関して、今年は考えたいということだと思いません。

会長：他にご意見はよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

会長：それではご意見ご異議がないということで、承認ということにさせていただいてよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

会長：異議はないようですので、承認いただいたものとさせていただきます。

(3) その他、意見交換

会長：その他意見交換です。

全体を通して、何かご意見ご質問はございませんでしょうか。

委員：医療介護関係者の研修を医師会の方でいただいているので、その中で北播磨の中で結核の患者さんもまだ多く日本全体としては減っているところなのですが、特に北播磨の圏域は外国人労働者の方が多いのとあとは兵庫県全体で高齢者の方が増えていらっしゃると思いますので、以前に罹患した方が再燃したりなどで、見つかるのが遅くなったりするケースも散見されておりますので、結核についてまた啓発させていただくようなことを医師会にお願いしているところです。他の圏域では、人生会議に関しても啓発をしておりましたので、またそういうご要望があれば、伝えていただけたらと思います。

また、骨折の医療費が増加しているというお話もあったと思いますが、これは地域医療構想の方で分析してもらおうと骨折に関しては割と急性期病院での長期入院の長期化などの課題もあり、もう少し地域の病院の連携を、在宅医療も含めて進めていけたらと考えています。引き続きよろしく願いいたします。

会長：他にご意見はよろしいでしょうか。

ケアマネジャーとの連携という点で、薬剤師さんと歯科医師会について、対象者がいないということで、理由になっていましたが、薬剤師と医師連携はできているのでしょうか。

委員：薬剤師会の方では、医療情報提供があれば、義務化という形で情報提供書を送らせていただいていますので、必要事項の情報は送らしていただくという形で、医師との連携は割とできています。在宅に関しては、その在宅をやっている薬局では、できていますよということを聞いてはいるのですが、実際にどのように動いているかというのはなかなか把握ができていないです。薬剤師会に入られていない方もあり、実際

在宅でどのように動いているかというのはなかなか把握しきれないところがありまして、在宅では訪問看護さんに管理してもらっているという言葉をよく聞きます。薬剤師が在宅に入っていったどのように管理をするかという色々と方法はあるのですが、なかなか入っていけていない現状がありますので、ぜひケアマネジャーも薬剤師も使っていただくという形で、そしたら在宅での状況把握、より一層の服薬指導に関して薬の理解説明が入っていきますので、また仲間に入れてもらってという形で使っていただければ、進んでいくのかなとは思うのですが、現状、このシートで動いているっていうのはなかなか聞きません。

会長：ありがとうございます。できるだけ共有して、仲間ですので、情報共有が十分できてなかったと思いますので、よろしくをお願いします。

委員：クリニックとかが突然閉まってしまうかもしれないという話なのですが、本当に介護の場面でも特に訪問介護が厳しいということは押さえて、事業のところで、地域の医療機関・介護事業所等の資源情報を整理し、資料に書いてくださっていると思うのですが、ただもう少し突っ込んだところで、この訪問介護事業所に何人、ヘルパーがいて、そのヘルパーたちが一体何歳の人がどれだけいるのかということをご存知だろうかとお伝えしたいところがございます。

50代、60代の方が頑張ってくれていて、本当にもう30代40代のヘルパーは本当にほとんどいないので、今後介護保険制度もどうなっていくかわからないけれども、介護度の軽い人たちがデイサービスを使える回数をもっと厳しくなっていくと、在宅介護をする時間が多くなって、そのときにヘルパーが家に来てくださらない状況だと本当におうちの方も働けない、収入がない。もうすごいことが起きてくるので、介護事業所等の資源情報の整理把握というところやケアマネジャーの人材確保の部分も考えていただきたい。加東市が実施しているのは、実務者研修の補助だと思っておりますけれども、そこも検討を深めていただけたらと思います。

事務局：いろいろご意見ありがとうございます。確かに介護人材不足というのは、国県ではある程度どれぐらいの人材が不足するかというのを出されていて、それに伴って加東市が大体どれぐらいか見込んだところ、2040年で、人口推移で普通に考えると、700人ぐらいから600人ぐらいに減るだろうと言われております。

ただその人口減少がある一方で高齢者の増加を含めて見込むと、約1,000人必要になってくるのではないかと、人材不足で深刻な問題になっているのだなということは認識しております。

ただそれはあくまで全国的な統計的なものから出したものでありますので、また10期計画に向けて本当にそれぞれの介護事業所さんがどれぐらいの年齢の方が今従事されていて、不足しているのかどうかという実態を把握していかなければいけないと思っております。

また加東市の方でも人材不足というところで、できるだけその地域の通いの場などに地域の方が戻っていけるような、そういった施策を今考えていっているところがございます。その点については、ケアマネジャーにも協力いただいていると思いますので、今後またお互いに協力しながら、進めていきたいなと思っております。情報の方も共有させていただきたいなと思いますのでよろしくお願いいたします。

会長：ありがとうございます。他にご意見はよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

会長：ないようでございますので、これで本日の議事を終了したいと思います。ご協力ありがとうございました。

4 閉 会